

科目名	(研究指導)	研究指導要員	高橋暢雄教授、佐々木隆教授、 林猛教授、本多周爾教授、 阿久澤忠教授、謝心範教授/ 高橋恵美子教授 (研究指導補助)
授業形態	演習	期 間	1～3年通年
授業の到達目標 及びテーマ 授業概要 授業計画 評価基準 評価方法 教科書 参考書	日中英語圏に関するコミュニケーションについて、研究の実践、指導を行い、国際コミュニケーションの緒論に対して論文指導を行う。		
	(高橋暢雄教授) 国際ビジネスを主眼としながらも、政治学、国際関係論等を踏まえ、日中英語圏の異文化におけるビジネス展開と、諸問題の実務的対応について課題を設定し、在学期間中に博士論文提出を念頭に入れ、論文指導を行う		
	(佐々木隆教授) 特に演劇・メディア芸術・文化等を中心にした国際文化交流は、国境を越え、社会・文化・伝統や価値観等に影響や変容をもたらす国際コミュニケーションの一事象ととらえ、クール・ジャパンや国際文化交流に関する論文指導を行う。		
	(林猛教授) 日本文化、とりわけ日本民俗学の研究成果に基づく生活文化等に関し、中国、英語圏の対象分野も視野に入れた諸研究事項に対し、研究を深められる具体的テーマを精査して取り上げ、資料の積み上げや分析方法も用いて論文指導を行う。		
	(本多周爾教授) 研究に際して、ヒューリスティックに取り組む視点と姿勢を養う。テーマとして国際コミュニケーションの量的、質的变化が、国際関係、当該国の政治変動、社会変動等に及ぼす影響の分析を取り上げ、論文指導を行う。		
	(阿久澤忠教授) 漢字を基軸とした日本語と中国語との関連性に考慮し、日本語の基礎的事柄と変遷についての知識を身に付けることを前提に、対象に即した研究方法の指導を通して、論文指導を行う。		
	(謝心範教授) 日中関係と文化交流の現実問題に関心を持ちながら、日中交渉史・交流史・日中関係史など関連分野の先行研究調査を实践したうえで課題を選定し、論文指導を行う。		

<p>授業の到達目標 及びテーマ</p> <p>授業概要 授業計画 評価基準 評価方法</p>	<p>(青木雅幸教授)</p> <p>Having an interest in English as a Lingua Franca, students will be fully guided to decide their research themes with originality, in which they can deepen their studies, accumulating more knowledge in advanced English expressions and vocabulary.</p> <p>リングア・フランカとしての英語に関心を持ちながら、上級英語の表現・語彙についての知識を深めることを前提に、研究を深められるオリジナリティのある具体的テーマを、院生と十分に検討の上、取り上げ論文指導を行う。</p>
<p>教科書 参考書</p>	<p>(高橋恵美子教授) (研究指導補助)</p> <p>日本中世及び近世で使用されていた日本語から言語的な現代までの変遷を中心にした日本文化の研究を目指す論文指導の補助を行う。</p>